

## サマーミーティング2013 開催記録

■開催日時 平成25年7月24日(水) 午後2時～4時20分

■開催場所 笠間市役所 本所 大会議室

### ■参加者

- 生徒21人(市内各中学校代表3人×7校) 男子5人・女子16人
- 山口市長、飯島教育長 ほか

### ■概要説明(司会)

このサマーミーティングは、市長・教育長との意見交換を通して、中学生の視点による将来展望を市政に反映していこうと開催しているもので、今回で第5回目となります。身近な話題や疑問、笠間市の将来などについての意見交換と各校生徒の交流の場として、リラックスした雰囲気ですべてを進めていきたいと思っております。

今回は、事前にお知らせしてありますように、「笠間市の未来のために今やるべきこと～まちの活性化のための提案～」をテーマにフリートークを行います。皆さんテーマについて、いろいろ考えてきたことと思います。どんな意見・提案が聞けるのか楽しみですけれども、まず笠間市ではまちの活性化のためにどんなことを考えているのか、笠間市企画政策課職員より「笠間市の駅周辺整備と活性化について」など、15分程度説明させていただきたいと思っております。

### ■自己紹介

### ■笠間市総合計画の説明(企画政策課職員)

### ■フリートーク(笠間市の未来について)

#### 意見1:生徒(南中)

笠間市は農業が盛んなので、もっと野菜を売ればいいと思います。それを買ってもらうには、まず笠間市に来てもらわないといけないので、都会にはない自然を利用したレジャー施設を作り、そこに遊びに来てもらい帰りに野菜や米を買ってもらえば、市が活性化するし笠間の野菜や米が売れていいと思います。レジャー施設の例としては、涸沼川の周りにキャンプ場やバーベキューができるようなところを作り、遊びに来てもらえればいいと思います。そのような場合はしっかりルールを設けて、涸沼川を汚さないようにしてほしいです。

また、花や木をたくさん植えれば、空気がきれいになるし、二酸化炭素の削減にもなると思います。花や木を植えることや、地域の方々がやってくれている缶拾いや落ち葉掃きに中学生も参加したいと思っております。

また、できるだけ小中学校の統廃合をしないでほしいです。母校が無くなってしまうと、自分が大人になったときに寂しいし、笠間市に残りたいという気持ちが薄れ、地元に残る人が減る原因になると思います。

最後に、私の家に東京から親戚が来たときに、「星がきれい」と言ってくれたことがすごく嬉しかったです。きれいな星空が見られる施設を作って多くの人に星空を見てほしいと思います。このように活性化することと自然を残すことをしっかり区別して、魅力のある住みやすい笠間市にしてほしいと思います。

#### 回答1:市長

まず笠間市には、例えば歴史的建造物だとか農産物だとか特産品だとかいろいろなものがあるよね。それを皆さんができるだけ知ること、それが重要です。自分の周りだけではなく、笠間市にあるいろいろなものを覚えておくと、他の地域にはなくて笠間市にはこういうものがあると、笠間市の自慢を皆さんから他の市町村に情報発信することもできます。もちろんいろいろな角度で、学校であったり個人的であったり勉強はしていますが、まず自分の地元の笠間市のことを勉強することが必要だと思いました。

自然を大切にしていこうというのは我々行政の仕事であり、また皆さんがそういう心がけをしていることが大切だと思います。自然を守っていくのはなかなか大変です。市役所だけで守っているものでもないのだから、皆さんがそういう心がけを持っていくことが必要かと思っております。

星がきれいという話が先ほどありましたね。市内では、愛宕山のスカイロッジはすごくきれいだと思います。北山公園の駐車場や東工業団地の上もきれいです。私はたまに夜遅く散歩しながら

ら笠間支所で星を見ているときがあります。すごくきれいです。皆さんの近くにそれぞれ星が見えるきれいなところがあるので、ぜひ見てもらいたいと思いますし、そういう場所を大切にしていくなることが必要だと思います。

笠間ではバーベキューは愛宕山のスカイロッジと北山公園でできます。キャンプ場としてあるのは北山公園で、今後もう少しきれいにして、いろいろなことができるようにしていきたいと思っています。

## 意見2：生徒（稲田中）

さっきの意見と少し重なっているのですが、笠間市はこれから農業を中心として活性化させようとしているのだと思っています。

新しいものを作るのはやっぱりかけなので、新しいものを作って自然破壊をするより、地域の方に力を借りて使わなくなった所に人工樹林を作っていたらどうかと思います。都会に住んでいる親戚がいるのですが、夏に笠間に来たときに、弟が家の後ろの山で採れたカブトムシを見せたら、大の大人が無邪気に笑って興味津々で見ていたので、くぬぎの木などを植えて、都会の人に興味を持ってもらうことも必要だと思いました。また、都会では体験することのできない作物の栽培ができる笠間市の畑として、クライנגルデンのように開拓するのもいいのかなと思います。

さっきの意見にもあったように、自分の母校となる場が途切れてしまうのはとても悲しいので、人を増やすことをしていただきたいと思います。良いところは残し、必要のないところは必要のあるところに、そして何より、茨城県笠間市に来ようと思う大きな理由がほしいと思います。

## 回答1・2：教育長

市ではいろいろな人たちの意見を聞いたり話し合ったりしてルールを作って、27年度の4月に東小学校、箱田小学校と佐城小学校を笠間小学校に、東中学校を笠間中学校に統合する形でスタートします。大きい中学校がいい、小さい中学校がいいという意見がありましたが、それぞれの学校の良さがあるね。これから高校に行ったり就職をして仕事を持ったりしたときに、どれぐらいの人たちと仕事をしなければならないのかということを考えて、どんな環境になっても仕事ができたり自分が発揮できたりする大人になってほしいという願いで統合を考えました。人口減少時代に学校はどう在るのがいいか、このぐらいの人数で1学級これぐらいの人数がいいという考えから、統合の議論がスタートしています。東中学校がなくなってしまうから、すごく寂しいと思います。でもこれは、今の学校を、みんなで最後まで大好きな学校、素敵な学校としてほしいと思っています。これから人口が少なくなってきたときにどうしていこうかということは、笠間だけでなく日本中のいろいろなところできっと考えられていることです。そういう中で、これからのいろいろなことがあるかもしれませんが、相談などしながら今の環境を大事にしてほしいと思います。

## 意見3：生徒（友二中）

学校の授業の中で笠間市は栗が日本一だと聞いたので、栗林などの大きな施設を造って、もっと農業施設を充実させてほしいと思いました。

個人的な意見ですけど、笠間市には笠間駅くらいしか分かるものがないので、もっとインパクトがある大規模なシンボルになるものがあると、分かりやすく来やすいなと思います。

あと私の家の周りには病院が多いのですが、岩間地区のあたりには病院などがあまり充実してない感じがします。中央病院の周りにはばかり病院の施設が出来てしまうので、もう少し病院の施設を充実させてほしいと思いました。

## 意見4：生徒（南中）

私は先ほど話があった栗以外にも自分で調べて、笠間焼きや稲田御影石、いなり寿司、菊、自然薯、りんごなど、いろいろな笠間市の特産品があることがわかりました。でももっと中学生にも親しまれるように、もっとアピールしていくべきだと思います。アピールしていくため、クライングルデンなどで季節ごとの特産品を作ったり印象深いポスターなどを貼ったりして、広く多くの人々に笠間市の特産品を広めるべきだと思います。

## 回答2・3・4：市長

笠間市は農業の盛んな地域の一つです。先ほど出てましたように、栗もあります。栗は日本一の栽培面積であります。皆さんの周りを見ると栗畑がたくさんありますね。友部地区は菊もあり、茨城県の中では一番ぐらいの生産地であります。工業、商業などいろいろな産業がありますが、笠間市にとってはこの農業というのが大きな産業の一つなので、農家の方々と協力して、もっと栗を植えて良い栗を作ろうとか、岩間地区の梨、柿、梅、友部地区の花ももっと盛んにしようという取り組みをしています。お米もそうです。笠間で採れるお米は非常においしいという評判があります。このお米をブランド化して、全国に売る。全国どこか、これからは日本の質のいい

農産物は世界に売っていき、そういう時代になってきました。ですから、農業が非常に大切なものであります。これを観光に来る人含めて販売していったらどうかというのは、まさしくその通りであります。店先、例えば農協さんがやっているみどりの風、土からのたよりやめばえなどの直売所に直接販売するという販売の仕方が、最近非常に目立ってきました。更にインターネット販売もこれからしていかなければならないと思います。笠間では農産物を加工して売るようにしていこうという6次産業化というのをやっています。例えばトマトだったらそのまま売るのでなく、加工すると付加価値が付きます。トマトで売るときは100円であっても、まとめてトマトジュースとして売ると、もっと高くなります。笠間にはこういう加工品の代表的なものとして、笠間の粋というのがある。梨のソフトクリーム、豆腐、お味噌、栗アイス、栗の極み、さっき言ったお米や自然薯などいろいろなものがあります。笠間にはこういう特産品があるんだよということをおみなさんに覚えてもらいたいなと思います。こういうのをネットでどう販売していくか。ネットでもう販売しているものもありますけれども、まとめてどうやって販売していくのかというのは、さっき意見にあったようにこれから力を入れていかなければならないことだと思っています。直接店先で販売すること、さらにはこういうネットを使って笠間の代表的なものを販売することで笠間をPRしていくことが必要だと思います。

#### **意見5：生徒（稲田中）**

私は、笠間のいなり寿司をもっと広めるべきだと思います。いな吉というマスコットキャラクターがありますが、いなり寿司を広める方法として、もっとインパクトのある面白いキャラクターを作り、いろいろな県のイベントに参加したほうがいなり寿司を知ってもらえると思います。そして、そばいなりだけではなくいろいろなものと組み合わせでいき、主食として食べるだけではなくスイーツなどを開発して人々の考えを一変させる工夫も必要だと思います。それに、笠間市に直接来なくてもインターネットやコンビニで買えるようにすれば、知名度が上がります。そして、興味を持った人が本場で笠間市限定のいなりずしを食べたいと思うことで、笠間市に観光客が増え、活気が出てくると思います。

#### **回答5：市長**

いなり寿司は、笠間地区でいな吉会という団体がいな吉を生み出しています。いな吉ってみんな知っているかな。笠間のキャラクターです。それをもっともっと売り出したほうがいいというのは、その通りだと思います。今、日本で一番のキャラクターってどれだろう。そう、くまモンが一番です。くまモンは動きやアクションがすごいんだよね。いな吉は動きが悪いと思います。くまモンのような打ち出し方が必要なのかなと思っています。今職員はいな吉の入ったポロシャツを着ています。ポロシャツは1枚2000円で売っています。そういうPRもしています。

#### **意見6：生徒（友部中）**

笠間市は交通の便がよい一方で、ごみが落ちていたり、外灯が足らず暗い場所があったりするなどの問題点もあります。この問題を解決するために、各地域でごみ拾い活動を行ったり、LEDや太陽光発電の外灯を建てたりすればいいと思います。ごみ拾い活動は、自分たちの手で行うことによって環境に気を配るようになったり、ごみが減ったりすると思うからです。外灯にLEDや太陽光発電のものを使用する理由は、LEDは長持ちするし明るいという良い点があり、太陽光発電の外灯は日中日光を浴びていれば発電し、ライトが点いて、その場所が明るくなるからです。このように、人間の手で活性化させ、未来に繋がる街づくりをすればいいと思います。

#### **回答6：市長**

エコに関して、太陽光発電の外灯であったり、外灯をLED化したりすることが必要であるという意見はその通りだと思います。笠間市内にたくさんの外灯があるよね。笠間市内の外灯は、笠間市が直接設置しているものと、行政区で付けているものと2通りあります。市の外灯をLED化するために、今年中に全てがなるわけではありませんけれども、今年度から事業を進めています。今度は地域の持っている外灯もLED化するというので、地域の代表の区長さんたちとこれから話し合いをしていきます。要するに外灯はLED化していくということで進んでいます。外灯だけではなく、建物の照明も、全部一度にというわけにはいきませんが、LED化を進めています。学校も全部の教室ではありませんが、先生方のいる職員室や、特定の教室はLED化していると思います。

ごみについては街をきれいにしたいとか自然を大切にしたいとかごみ拾いをするべきだとかいろいろな意見があって、笠間でもボランティアの人やいろいろな団体がごみ拾いを定期的に行っていますが、自分でごみを捨てず、もし落ちていたら拾うというのが一番基本だと思います。ボランティアやいろいろな団体の人と一緒に清掃活動することも必要です。そういうことを、笠間市内のいろいろな団体が取り組みとしてやっていますし、これからも必要だと思います。

#### **意見7：生徒（友部中）**

空き地や使用していない建物を使って、今日本の問題の一つの高齢化を考え、介護施設や老人ホームの整備をしたり、子どもからお年寄りの方だけでなく体の不自由な人でも体を動かせることのできる場所を作ったりして、子どもの体力向上と大人の体力維持を目的とすればいいと思います。

空き地を全て建物にするのではなく、「自然保護宣言の町」を宣言して花々を植えて心を落ち着かせたり、やすらげる場所を整備したりして環境問題への対策をするのもいいと思います。

#### **回答7：市長**

空き地、使われてない施設、空き家などを有効活用するということがよね。使われていない施設は壊すことも必要ですし、使える目的がしっかりしているものについては改修して使うことも必要です。新しいものを建てるよりも改修した方が、安く済んで短期間でできるというメリットもある。でも、例えば学校を学校として使う分には使いやすいけれども、老人ホームとして使う場合には非常に使いづらくなるというデメリットもあります。色んな改修をしても、その目的が違ふと使いづらくなります。何に使うかによって、改修するのか取り壊して新しいものを作るのかということも考えていく必要があるんですね。空き地も、例えば市のいろいろな施設を取り除いてできた空き地にまた新しく何かをつくるということではなくて、公園にしたり、花いっぱいにしたりすることは必要だと思います。あったものを壊してからまた建てるというような時代ではなくなったということです。

#### **意見8：生徒（友部中）**

笠間のいな吉を全国に広めていってほしいと思います。日本は今ゆるキャラがブームになっていて、全国で作られた様々なゆるキャラが全国放送などのテレビに出てその地域のPRをしています。いな吉もこのように、もっといろいろなところへ露出を増やしていけば、笠間のいな吉も有名になって今よりたくさんの方が笠間市に来てくれると思います。例えば、友中で去年全校生徒から募集して作られたキャラクターがいるのですが、それは友部中学校で盛んな花いっぱい運動の花をモチーフにしていて校章も書かれています、友部中学校というものをすごくアピールしているキャラクターです。子どもから関心が低い笠間焼などにも子どもが好むようなデザインのマスコットキャラクターを作ること、より小さな子どもにも笠間について興味を持ってもらえたら、もっと笠間市も活性化すると思います。

#### **回答8：市長**

いな吉はまだ有名とは言えないかもしれません。いろいろなところに引っ張り出して、有名になるようにしたいと思います。アクションとネットを使った売り出し方を工夫することも必要だし、グッズ商品もこれから考えていきたいと思います。頑張って売り出していきます。

#### **意見9：生徒（友二中）**

笠間市が今やるべきことは、安心して過ごせる施設を造ることだと思います。まず災害対策をすればいいと思います。東日本大震災のような大きな地震、竜巻などの自然災害はいつ起こるかわかりません。そこで、どこへどう避難するかなどを決めておくように定めればよいと思います。もしもこれから市に新たな施設を造るのであれば、耐震工事をして、しっかり震災対策をすればいいと思います。

#### **回答9：市長**

安心して使える施設や避難所の整備は、東日本大震災を経験したので、非常に大切なことだと思います。市でも学校や体育館などの公共施設の耐震化を進めています。でも結構お金がかかって一度にはできないので、毎年順番を決めながら整備をしています。避難所はたくさんあるけれども、友部地区だと友中と友小が特別避難所になっています。特別避難所は、一時的に避難するのではなく、寝泊りして一定の期間生活ができるように水や非常食などいろいろなものを揃えておきます。井戸を掘って水がないときに供給できるようにするといった整備もしました。他の小中学校も避難所として使っていただくようになりますけれども、特別避難所を新たに設置して対応していきたいということです。海岸沿いの自治体は津波対策というのが一番大切だと思いますが、笠間市は津波の心配はないので、建物をしっかり補強しながら耐震化をしていくことが必要です。

#### **意見10：生徒（友部二中）**

私は、道路の近くなどに木などの緑を増やして排気ガスを減少させたり、緑のカーテンを実施したりするのがいいと思います。

また、物を大切に、リサイクルしたりフリーマーケットをしたりするのもいいと思います。ごみの分別は続けてごみ拾いをして、ポイ捨て防止のためにごみ箱を増やしてもいいと思います。他にもあいさつをしっかりとするためにあいさつ運動を公共の場で行い、回数を増やし大人も子どももしっかり挨拶をできるようにすればいいと思います。

## 回答 10 : 市長

ごみの対策やあいさつ運動、緑を増やすということですよ。さっき言ったようにごみは皆さん一人一人がごみを捨てず、捨ててあったら拾うことです。また、ごみは持ち帰るとというのが基本になってきたので、市ではあまりごみ箱を置いてないと思います。例えば皆が部活の大会で体育館などを使ったときには、先生にごみを持ち帰りなさいって言われるでしょう。基本的には、自分で出したごみを自分で持ち帰るといった心がけが必要だと思います。

それと、友部二小の近くの畜産試験場で、月に1回いきいき市場というフリーマーケットが開催されています。岩間地区では岩間駅の西側でフリーマーケットのようなものを毎月1回やっています。イベントのときは市役所の前などでも、いろいろなフリーマーケットをやっています。物を大切にするという意味では必要だと思います。行ってみてください。

## 意見 11 : 生徒 (岩間中)

僕が今笠間市として最もやるべきことだと思うのは、予算の確保だと思います。例えば、お金がないから老人ホームや病院が建てられないとすると、笠間に住もうと思っても老人ホームがないのだったら老後笠間市に住むのは難しいなどといった感情を持ってしまうこともあると思います。だから、例えば市民として納めている所得税や住民税などを1%とか2%上げただけでも、8万人住んでいる笠間市がそれを続ければ老人ホーム一つ建てるお金にはなると思うので、市民として必要な施設を建てるだけのお金をいろいろなことをして集めていってほしいと思います。

## 回答 11 : 市長

予算の話ですね。笠間市の予算は、市民の皆さんからもらっている税金、働いた人からもらう税金、家や土地にかかる固定資産税などいろいろあります。それに加え、国からもらう税金、個人からもらう税金で予算を作って、いろいろな道路を作ったり、観光や農業施策をしたりしています。その予算の収入を増やすという事は、大変重要なことです。そのために大きな効果があるのは、企業の誘致です。企業が来れば、大きな工場ができて工場に税金がかかり、市に入ります。そこで働く人もいて、その人の収入が増えて、税金の収入も増えます。1人何千円か負担してもらって税金をアップすることも、実際にするのはなかなか難しいです。限られた収入の中で、市の病院を建て替えたりだとか、民間でつくる老人ホームを誘致したりだとか、そういうことをしています。いろいろなものが需要ですが、優先順位としては高齢者の対策や観光が非常に重要だと思っています。また、サービスを受けるということは負担も増えるということです。サービスは受けるけれども負担はひとつも増えないということでは社会は成り立ちません。サービスを受ける、その代わりに負担も少しでもするということです。例えば大人が病院にかかると、1,000円かかったら300円は負担しなければなりません。お年寄りには1割負担します。負担も伴うということをおわかっていただきたいと思います。

## 意見 12 : 生徒 (岩間中)

笠間市がやるべきことは観光に力を入れることだと思います。新しい観光名物や名所などを作ったほうがいいと思います。また、各商店で協力し、商店などで買い物したときに笠間の名物などが書いてある簡単なシールなどを付けてもいいと思います。

笠間の空気が悪いところも改善することも必要だと思います。

## 意見 13 : 生徒 (岩間中)

やはり観光についてですが、まず笠間市内に来てもらうには市外、県外の人に笠間のことを知ってもらう必要があるため、市内で行われている栗祭りなどのイベントを市外で行うことが大事なのではないかと思います。市外でイベントをして、笠間のいいところを知ってもらい、来てみたくなるようなことをすれば観光客も増えるのではないのでしょうか。さらにSAなどで栗や笠間市の特産品などの試食会を開くと、県外の人にアピールできると思います。外へ大きく宣伝をして、笠間に来る人を増やせばいいのではないかと思います。

## 回答 12・13 : 市長

観光の話が出ました。住んでいる人たちが段々少なくなってきたという話があって、少なくならないように取り組むことも必要ですが、笠間に来てもらう人をどんどん増やしてまちを元気づけていくことも必要です。その手段の一つが観光です。笠間に来てもらって、美味しいものを食べてもらったり、お土産を買ってもらったり、いろいろなところを見てもらったりし、笠間市にお金を落としてもらって、まちを元気づける。そういう意味で観光というのは非常に必要だと思います。これからは日本人だけではなく、外国人の受け入れも必要になってきます。岩間には合気道があり、たくさんの外国人の方が習いに来ていますね。あれは日本にしかない武道であり、外国人はその中にある精神的な文化を学んでいます。だから、例えば合気道の道場を観光資源として外国人にPRし、道場を借りて外国人に着替えてもらって体験の稽古をしてもらうといった観光も必要になってくると思います。笠間の中にある歴史的なものを見てもらうことも必要です。

が、そういう観光もこれからは必要です。

また、イベントを市外でやることも確かに必要ですし、積極的に出ていった方がいいと思います。友部SAや笠間PAなどで、笠間の農産物や名産品を売るということも非常に重要です。今度友部のSAなどに行ってみてください。お稲荷さんとかいろいろ売っていて、結構売れ行きもいいです。ただ、岩間地区で開催している新栗まつりは、やっぱり栗の生産が一番のあの地区でやるのがいいのかなと思います。

#### **意見 14：生徒（稲田中）**

笠間市は以前あった市民プールがなくなり、現在はプールがありません。泳ぎたくても、私たち子どもやお年寄り以外の市町村に行くのが大変なので、学校の授業で泳ぐくらいです。それも夏限定でそれ以外は全く泳げません。水泳が好きな人たちのために、大規模な市民プールをつくっていただきたいです。年中泳げるように、温水プールや銭湯のようなものを作り、交流の場としても活用していただきたいです。誰もが気軽にできるようなものを作ることで、笠間市を活性化できると思います。

#### **回答 14：市長**

気持ちはわかりますが、プールは難しいです。交流ができる大きなスポーツ施設もあるといいなということですね。確かに前は小さい市民プールが市民体育館の後ろにありました。温水で一年中利用できるプールがあると確かに便利だし、泳ぐ人たちにとっては必要なもので気持ちは分かりますけど、今笠間の優先順位の中では下の方になります。

#### **意見 15：生徒（南中）**

一つは、笠間駅の整備です。笠間駅は駐輪場や駐車場が少し狭いと思うので、それを広くしたほうが良いと思います。また、売店を作れば利用する人たちも便利だと思います。

また、笠間市は遊ぶところが少ないと思います。だから、笠間駅の周りの空き地を活かし、駅ビルにしたらいと思います。中のレストランでは笠間焼の器を使い、笠間の特産品などを使った料理を作ります。笠間のブースも作り、笠間市のマスコットキャラクターのぬいぐるみや特産品を売ればPRにもなります。水戸線の本数も増やしてほしいですし、北口だけではなく南口も造ればいちいち線路を越えなくても済んで、交通も便利になると思います。友部駅にはありますが他の駅にはなくて不便なので造ってほしいです。

#### **回答 15：市長**

笠間駅ですが、やっぱり元気がないと皆に言われます。今は新しくなった稲田駅の前の整備をやっています。笠間地区は笠間の駅も大切なものだけれども、今は元気のなくなったお稲荷さんの前や、井筒屋さんっていう震災でだめになった旅館の再整備を民間の人と一緒に進めています。今はそちらを優先してきれいにして、そこにお客さん呼び込むようにしていきたいと思います。ただ、駅というのはそれぞれの街の顔なので、ご意見のように、きれいにしてたり販売所を設けたりは必要だと思いますし、周辺の建物の利用も必要だと思います。

#### **意見 16：生徒（東中）**

僕は笠間市内のごみをなくすための活動を推奨してほしいです。笠間市の主要道路の周りにはごみがあることが多いです。大きい粗大ごみがあることもあり、見栄えが悪いのはもちろん、交通人のじゃまになるようなものもあり、とても重要な問題だと思います。そこで僕は、市内のごみをなくすための活動をしてほしいと思います。子供会の人数が減り、集まって何かをする機会がなくなってしまった今だからこそ、そのような会を活用でき、地域環境を美化できるような取り組みを行ってほしいと思います。また、この活動で地域の結びつきを強めることもできると思います。このような活動で地域が活性化してくれればよいなと思います。

#### **回答 16：市長**

ごみを無くすという意見がありました。先ほども何人かの方から出ていましたけれども、豊かな自然を守りながら地域をきれいにしていきたいという気持ちを強く持っているということを感じました。ごみを無くすということのために、自分たち一人一人は何ができるのかということ考えたときには、先ほど言ったようにごみを捨てない、ごみを見たら拾う、そういうことが必要だと思います。クリーン作戦やごみ拾いを大人の人たちがやっています。あとはごみではないけれども、子供会で廃品回収など、いろいろな活動があります。もし機会があればそういうものに参加して経験してみることは必要だと思います。ごみを無くすということは非常に重要なことです。

#### **意見 17：生徒（東中）**

私が提案するのは、笠間稲荷の門前通りの整備です。笠間市は都心に近いため日帰りできてしまうのですが、近距離にたくさんある見学施設から人の流れを門前通りまで持っていければいいと思います。そのために、多くの人が宿泊できる大きなホテルが必要だと思います。先ほど市長

さんの話にも出ましたが、私は井筒屋旅館が好きです。夜に通るとききれいにライトアップされているので、宮崎駿作品の千と千尋の神隠しに出てくる温泉宿のように見えます。その雰囲気がとても良いので、そういうところをもっとPRしてほしいです。

#### 回答17：市長

神社前の通りと井筒屋さんの整備についてですね。お稲荷さんの前の通りは、今は車優先ですが、歩行者優先の道路に変えようということを開始しました。また、統一した景観でお店作りをしていこうという勉強会をお店の人に参加してもらっています。井筒屋さんは先ほど言ったように、民間の方と協力してまたホテルとして利用できるような手続きが必要ですし、建物も古く耐震補強などもやっていかなければならないので、今準備を進めています。もうちょっと時間がかかりますが、出来たときにはぜひ泊まってくださいね。

#### 意見18：生徒（東中）

私は観光をPRしてほしいと思います。笠間市を代表する農産物や特産物も必要だと思うのですが、まずPRする場所が必要だと思います。笠間は交通機関が充実していると思うので、それを利用して、高速道路のインター付近や駅周辺に、PRできる場所を建設したほうがいいと思います。

また、最近テレビで都市緑化や屋上農園、菜園などの言葉を耳にします。それは都会の人が自然を意識しているということなので、クライנגルデンのような農業体験ができる場所を増やして農業の良さを伝えれば、農業従事者も増え笠間の良さを伝えていけるとと思います。そして今だけではなく、次の世代へ繋げられるような活動になればいいです。

#### 回答18：市長

観光ですね。いろいろな人から観光の意見が出ていますが、笠間を元気づける方法として観光というのは本当に重要です。笠間市は、菊まつりや陶炎祭などいろいろなイベントをやっている、そのときは人が集まってくるんですが、イベントがないときにはなかなか人が集まりません。そうしたときにも笠間に来てもらう取り組みとして、県内の中学生の一泊二日の研修旅行を呼び込んだり、座禅や箸作り、焼き物作りなどいろいろな体験ができる旅行商品を笠間市の観光協会と一緒に売り出したりしています。今の観光は見るだけでなく、自分で体験することが大変重要ですから、これからも充実させていきたいと思っています。もちろん農業の体験も観光の一つになっておりますので、農業体験も必要であると思います。

#### 意見19：生徒（笠間中）

笠間は自然がたくさんあって、星がきれいに見えるところがいいところだと思います。だから、その夜空を活かして星を観察できる場所があればいいなと思います。例えば、公園や広場などで、周りが建物になっていて、星について調べ、中庭で星を観察できるような場所などです。そういうところがあれば、夜に子どもやお年寄りが外出するのも危なくないですし、皆が行けるかと思っています。他にも、笠間には雨の日に遊ぶところがないので、小さい子から大人まで楽しめる屋内施設がほしいです。

#### 回答19：市長

観察の場所についてですね。山の上に、皆さんを教えている学校の先生の研修する教育研修センターがあるのですが、そこにはプラネタリウムと大きい天体望遠鏡があります。でも地震で壊れて、まだ直っていません。天体望遠鏡はすごいですよ。プラネタリウムは早く直して、皆で見たり使ったりすることも必要かと思っています。星は特に冬の夜空がきれいだよ。夜空を観察したり、感動したりできる場所をしっかりと守っていくということも市の役割です。

雨の日に遊ぶ場所ですが、これも難しいです。小学生の皆さんが遊ぶのは児童館とかいろいろありますが、中学生の皆さん向けの場所になると難しいですね。

#### 意見20：生徒（笠間中）

最初に説明があったように、今は高齢化が進んでいるので、お年寄りや障害者に優しい街づくりをしてほしいと思います。例えば段差のない公共の場所や音の出る信号、点字ブロックなどをもっと増やして、お年寄りや障害者が怪我に遭わないような工夫をしていけばいいと思います。

#### 回答20：市長

高齢者や障害者に優しい街ということですが、とても大事だと思います。音の出る信号も点字ブロックも必要です。さっき説明があったようにこれから高齢者が多くなります。高齢者は、例えば歩くスピードも皆さんと違います。皆さんが10m歩く間に高齢者は5mしか歩けないかもしれません。そうすると、点字ブロックや音の出る信号はもちろんだけけれども、施設や街全体のつくりを変えていかなければならないと感じています。街全体を変えていくのには時間がかかるけれども、そういう気持ちを持って街づくりをしていくことは非常に重要だと思います。今皆さんは14歳ですが、2030年には30歳過ぎになっているのでしょうか。多分社会に出て働き盛

りになっていると思います。その時に日本の社会は高齢者が一番多くなります。だから、今よりも負担が大きくなって、皆さんの肩にのしかかってくると思います。そうすると夢がなくなってしまうよね。でもそうならないようにいろいろなことに今も取り組んでいるし、これからも取り組まなければならないと思っています。

### **意見 2 1 : 生徒 (笠間中)**

僕は、元気で相手を思いやる心を持つ人づくりをすることが大事だと思います。それは生活や仕事をする上でも人の心や物事を良い方向に導き、街の治安維持にもなり、笠間市の活気あふれる未来につながると思うからです。僕たち笠間中では、相手を思い、お互い気持ちよく生活できるよう、笠間しぐさというものを実践しています。これは江戸しぐさを参考にしてつくったもので、気持ちのよいあいさつ・思いやりことば・物そろえ・右歩みの四つを生活の上で自然にできるよう全員で行っています。笠間市でも笠間しぐさみたいなものを作って、市民一人一人が取り組むと、笠間市の魅力や特徴になって市外の人にも良い印象を持ってもらい、活性化につながると思いました。

### **回答 2 1 : 市長**

思いやりの心を持つこととありました。これは人間として非常に大切な部分です。学校だったら友達付き合いとか、働くようになれば会社の付き合いとか、皆さんがこれから歩いていく中でいろいろな出会いがあります。その中で、相手を思いやること、相手を気遣うこと、相手の立場に立つこと、そういう気持ちを持つことは非常に大切なことです。その気持ちは、自分が大人になったときもどんなに成長しても絶対に忘れずに大切にしてください。非常に重要なことだと思います。

## **■講評 教育長**

皆さんから意見を聞いて、市長が丁寧に答えてくれました。でも、最初に市長から皆さんに笠間をもっと知ってほしいとお願いがありましたよね。笠間のここが大事というのは、人それぞれたくさんあります。例えば合気道をやっている人たちにとっては合気神社がそうですし、浄土真宗を信じている人にとって別格本山となっている稲田の西念寺がそうかもしれません。また、本当に不幸な出来事だけれども戦争のときに零戦に乗って船に突っ込んでいった人たちがいたよね。実は友部二小の近くに昔筑波海軍航空隊の若い人たちを訓練したところがあります。こころの医療センターの中に展示室もあるし、宍戸小学校の前の郷土資料館にもあります。笠間には、その人たちにとってはとても大事だという場所がいっぱいあります。みんなにも実際行って見てほしいですし、勉強してほしいと思います。

それからもうひとつ、時々笠間市のホームページを見てください。今市長からたくさん説明がありました。そういうことが載っています。笠間市の行政に興味を持ってほしいです。ホームページは意見も書き込めるようになっています。そういうこともぜひしてほしいと思います。

### **市長**

今日は皆さんからたくさん意見をいただきました。ありがとうございました。

皆さんが、自分たちの地域や笠間市全体の将来について考えを持っていることがよくわかりました。皆さんのこういう意見を大切にして、市長という立場でしっかり仕事を行っていきなと思います。皆さんがこれから高校に進学して、大学に行くにしろ社会に行くにしろ、住んでいたいと思える笠間をしっかりとつくっていきなと思います。今日はどうもありがとうございました。